

2020 年度コンプライアンス推進行動計画の振り返り

達成目標

- i) 働きやすい健全な職場づくり
- ii) 風通しのよい職場をつくり、チーム力を向上させる

重点施策と効果検証

(1) 職員相互の対話促進

主な実績：ホスピタリティ活動やコーチングの導入

効果検証：徐々に職員全体へ広がりつつあるも、更なる継続が必要

(2) ハラスメント予防と対応

主な実績：職員アンケートの実施、相談窓口の案内・周知

効果検証：実態把握が進められているが、今後対策や啓発の充実が必要

(3) 働き方改革の推進

主な実績：交替勤務や勤務時間と自己研鑽の区別など医師を中心に新たなしくみづくりと意識改革を進めた。

効果検証：長時間労働の削減について一定の効果が見られる。運用面を改善しながら総合的な施策の展開を継続させる。

(4) リスク評価活動の推進

主な実績：ハラスメントを共通課題として全部署で推進

効果検証：多くの部署や職場で改善が進んだ。一定の意識づけの成果が得られている。

(5) 情報セキュリティの強化

主な実績：情報管理の徹底について随時注意喚起を実施するとともに、ハード面の対策を実施した。また、職員アンケートや違反者への罰則強化を行った。

効果検証：セキュリティに係るリスクについて更に職員へ教育・研修していく必要がある。

(6) 職員倫理の徹底とサービスの確保

主な実績：研修や啓発が実施されなかった。

効果検証：職員倫理については、繰り返し注意喚起していく必要があるため、次年度以降は効果的な施策を推進すること。

(7) コンプライアンス推進月間の定着

主な実績：未実施

効果検証：法人で発生した不祥事を風化させることなく、コンプライアンスへの意識を振り返る機会として計画的に推進すること。